

発明の名称: 蠕虫性寄生生物由来の免疫賦活剤

利用・用途・応用分野

Th2免疫賦活剤としての薬品や、ワクチン開発

目的・課題

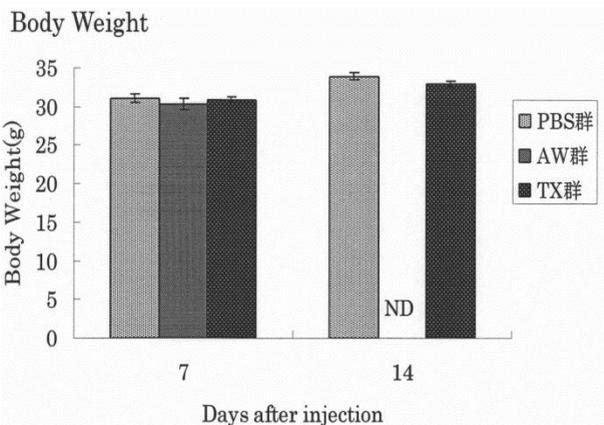
現状、in vivoで使用する上でTh2免疫賦活活性の十分な効果を有する物質は、未だ見つかっていないため、Th2免疫賦活活性を有する物質の探索は、Th1側に傾いた免疫反応のバランスをTh2側に戻す治療薬としてだけでなく、Th2免疫賦活化の初期におけるメカニズムを解明し、アレルギーの予防、治療薬開発のための知見を得るためにも重要である。in vivoで強いTh2免疫賦活化を引き起こすTh2免疫賦活剤を提供することを課題とする。

解決ポイント

Nbから漏出した成分には高いTh2免疫賦活作用があるのではないかと考え、その成分を探索するために、精製やその後の製剤化が不利と考えられるNbの水難溶性画分について検討することとした。そして、界面活性剤の1つであるTritonX-114を用いて抽出したNb由来の界面活性剤画分(水難溶性画分)には、従来技術では得られていない高いTh2免疫賦活作用があることを見出した。

研究概要・アピールポイント

本発明のTh2免疫賦活剤によると、単回の経口投与によるTh2免疫賦活剤、特にアジュバントを併用しなくてもよい副作用の少ない免疫賦活剤の開発や、ワクチン開発に繋がることが期待でき、さらに、Th2免疫賦活化の初期におけるメカニズムを解明する基礎研究にとっても有用なツールとなることが期待される。



ND=Not Determined

Th2免疫賦活剤(TX)、寄生虫全成分(AW)又はPBSの投与後7日及び14日における各群の体重を示す図

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp